

3月26日(金)初電車より 狭山市駅橋上駅舎の供用を開始します ～駅直結の新たな商業施設は来年(2011年)春オープン～

西武鉄道株式会社(本社:埼玉県所沢市、社長:後藤高志)では、狭山市と共同で新宿線狭山市駅の橋上駅舎・東西自由通路設置工事を進めてまいりましたが、3月26日(金)初電車より橋上駅舎と自由通路(一部仮設)を供用開始します。この工事は、狭山市駅西口地区第一種市街地再開発事業に合わせて計画され、再開発事業地区からはバリアフリー化された歩行者デッキにより駅を利用できるようになります。東口側は、2010年(平成22年)12月末までは仮の階段・エレベーターをご利用ください。なお、これまでの東西連絡地下通路は3月25日をもって閉鎖になります。

駅舎・自由通路・商業施設の全体コンセプトとして、“狭山らしさの演出と街並み・賑わいの演出”を意識し、明るく開放的な狭山市の玄関口となるようにしました。賑わいを演出する仕掛けとして、自由通路の天井やサインには地元狭山の「入間川七夕まつり」(注1)に合わせて七夕の飾りつけができるようになっています。また、コンコースのガラス面には狭山市の四季をイメージしたデザインシートを施し、狭山の魅力を生かした駅づくりに努めています。

橋上駅舎には、お客さまご案内用オープンカウンターや傾斜型運賃表、多機能トイレ、エレベーター、ホーム待合室、エスカレーターが設置され、車いすをご利用のお客さまやご高齢のお客さまにも便利にご利用いただけるようになります。また環境性も配慮し、当社初の旅客トイレで雨水を利用するシステム導入するほか、コンコースに膜屋根を導入するなど自然光を採り入れるなど多数の配慮を施しています(別紙1.2参照)。

駅供用開始の同日より改札横に駅型コンビニとして「Tomony(トモニー)」(注2)もオープンします。また、駅改良工事に伴い閉店となった狭山ステーションビルに代わる、新たな商業施設を2011年(平成23年)春に開業する予定です。駅、東西自由通路、再開発施設につながるデッキの新設により、商業施設が街と共生し、駅と街に住む人とを繋ぐ集いの場となり、新しい狭山のイメージアップとなるような施設を目指します。

詳細は別紙をご参照ください。



狭山市駅完成予想イメージ(西口)



2011年(平成23年)春完成時
東西自由通路内観イメージ

<概要>

1 全体コンセプト

狭山らしさの演出と街並み・賑わいの演出

1.1 駅舎部分その他詳細

お客さまご案内用オープンカウンターや傾斜型運賃表、多機能トイレ、エレベーター、ホーム待合室、エスカレーターの設置。

旅客トイレには清掃時にもお客さまにご不便なくお使いいただける切替トイレを設置します。ホームは一部拡幅し、ラッシュ時の混雑緩和を図ります。安全・安心で誰もが使いやすい駅を実現いたします。

○主な設備

2010年（平成22年）3月26日より供用開始

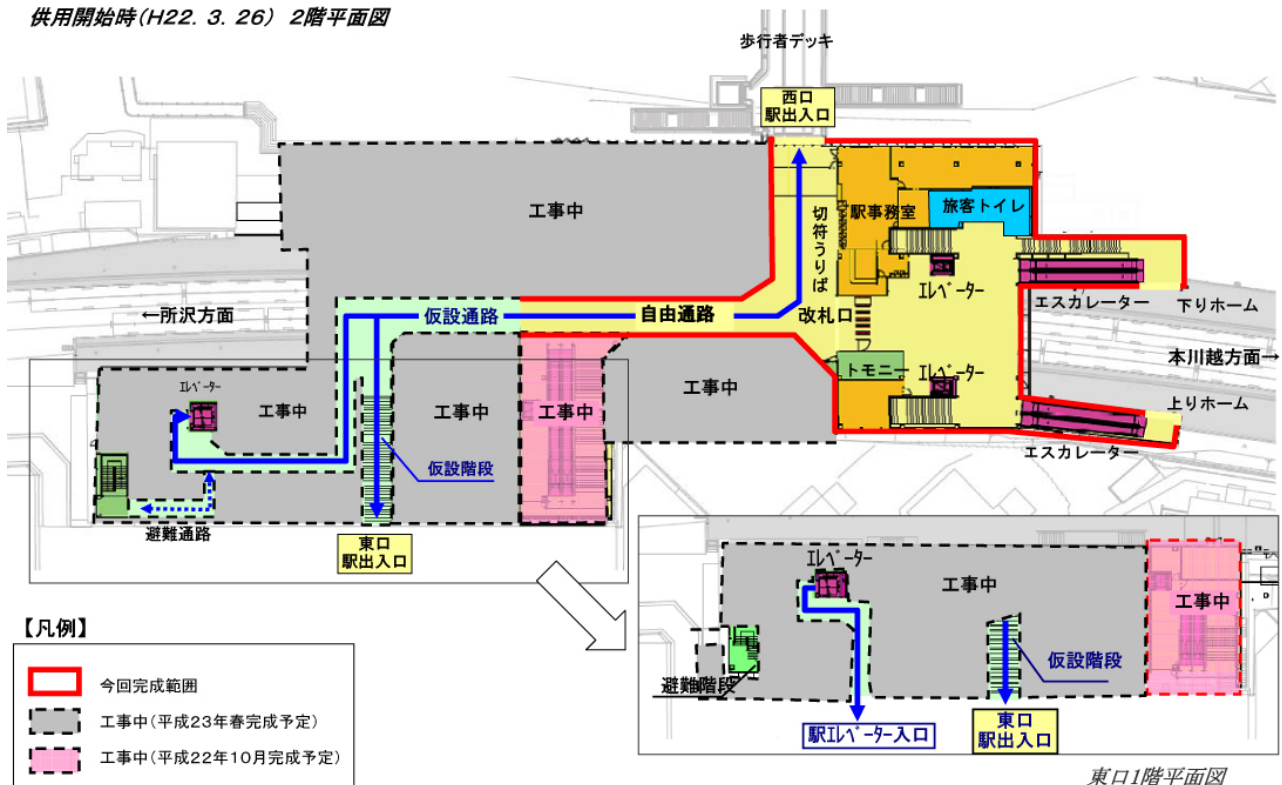
- ・エレベーター…2基（上下ホーム各1基）
- ・エスカレーター…4基（上下ホーム各2基）
- ・ホーム待合室…2カ所（上下ホーム各1カ所）
- ・旅客トイレ…1カ所（コンコース）
- ・多機能トイレ…1カ所（コンコース）
- ・お客さまご案内用オープンカウンター…1カ所

○今後の供用開始予定

- ・2010年（平成22年）12月 東口 エレベーター1基、エスカレーター2基

○平面略図

供用開始時(H22. 3. 26) 2階平面図



1.2 駅舎環境対策 当社では、環境に配慮した駅づくりに努めていますが、狭山市駅では下記の環境対策を取り入れています。

- **旅客トイレの雨水利用**…当社で初めてトイレ洗浄水に駅舎屋根に降った雨水を利用するシステムを導入します。この雨水利用により年間約 100 万リットルの水（一般家庭のお風呂約 5,000 回分）が節約できる計算です。
- **コンコースの膜屋根利用**…自然光活用による照明利用の低減を図っています。
- **ガラスブロックによる採光**…自由通路では、床にガラスブロックを用いることによって暗くなりがちなホームにも光が入り込むよう工夫しています。ガラスブロックによって自由通路の明かりがホームに届きます。
- **間伐材利用**…ホーム待合室には、“飯能・西武の森”の間伐材を利用したベンチを設置しています。
- **壁面緑化**…2011 年（平成 23 年）春の完成時には建物の外壁に壁面緑化を施す予定です。

1.3 狭山市駅の概要

- 所在地 狭山市入間川 1-1-1
- 乗降人員 44,611 人（2008 年度 1 日平均）

2 商業施設コンセプト

『毎日の生活のお手伝い』+α（毎日の「あったらいいな」をプラスオン）

2.1 商業施設その他詳細

駅改良工事に伴い閉店となった狭山ステーションビルに代わる、新たな商業施設を 2011 年（平成 23 年）春に開業する予定です。

店舗構成については、上記コンセプトに基づき地域に密着した駅ビルの利便性に加え、日々の生活にちょっとした楽しさ、幸せ感を提供し、駅を利用されるお客さま、地域のお客さま、あらゆる世代のお客さまに何度も足を運んでいただけるような魅力ある商業施設を計画していきます。

便利で気軽に利用できる食品・飲食店舗、日常生活を楽しく豊かにする物販・サービス店舗などを検討しています。

2.2 商業施設の概要

- 建物規模 鉄骨造 2 階建て
- 延床面積 約 5,679 m²（駅施設を含む）
- 店舗面積 約 4,142 m²

(注1) 関東三大七夕まつりの一つである「入間川七夕まつり」は、狭山の夏の一大イベントで、江戸時代の中ごろから始まったとされています。狭山市駅西口から七夕通り商店街を中心に約1.5kmの沿道は、百数十本の竹飾りで埋めつくされます。毎年8月の6日、7日に近い土曜日・日曜日に開催されています。（狭山市Webサイトより）

(注2) 「Tomony（トモニー）」は、当社と株式会社ファミリーマートで共同展開している新業態の売店です。従来の駅売店よりも多くのお客さまのニーズに対応した品揃えと新商品の早期導入を図り好評を得ています。営業時間 6:30～23:00（年中無休）

◎お客さまのお問合せ先

西武鉄道お客さまセンター TEL. (04) 2996-2888
営業時間：平 日 9:00～19:00 土休日 9:00～17:00
※音声ガイダンスのご案内により操作してください。

以 上